

史上初「五輪ボランティア後夜祭」を「Jヴィレッジ」で！

「復興五輪」の象徴として、2020.9.6（東京パラリンピック最終日）に「東京 2020 ボランティア後夜祭」を「Jヴィレッジ」で開催し、慰労および福島から感謝を伝えたい、ひいてはこの地に「スポーツボランティア文化」「ささえるスポーツという文化」を五輪レガシーとして定着させたいと考えています。

2 年後これを実現するために、このたび 9/2（日）17:00-18:00 Jヴィレッジ光の間にて「2020 スポ・ボラ後夜祭」準備会議を開催し、そのメンバーに被災地の現状をみてもらうツアーを実施します。



Jヴィレッジで後夜祭を行う理由

- ① 被災地でスポーツイベントを誘致し、成功させるには、運営をささえるスポーツボランティア文化の醸成が必要。
- ② 原発事故現場から最も近いスポーツ施設。
- ③ サッカーの聖地から原発事故処理の最前線基地へという過酷な歴史。
- ④ 物理的にも精神的にも、日本で最も「行きにくい」場所となってしまった土地だからこそ、復興五輪ボランティアが集い、記憶の地に。



9 月 6 日は「スポーツボランティアの日」

オリンピック 3 大会連続出場のマラソンランナーであり、日本のスポーツボランティア研究の第一人者である宇佐美彰朗氏（東海大学名誉教授）が今年申請し認定されました。「苦勞して、クレーン無し、チーム組む」（9/6 クムが 3 つ入ったボランティア活動の標語です）

今回は上記の宇佐美彰朗氏をはじめ、日本財団オリンピック・パラリンピックボランティアサポートセンター代表や、筑波大、仙台大、福島大、大東文化大の研究者他、多彩な分野で活躍するスポーツボランティア関係者がこの活動に共感し、全国各地から 2 日間に渡って 30 名ご参加くださいます。

より多くの福島県民がこの活動に興味を持ち、自分にできそうな小さなことでいいので関わっていただき、一緒に創り上げてくれることを願っています。

本当の復興五輪はボランティアと福島県民が創りましょう！

【日程】別紙(裏面)

9 月 2 日 17 時～18 時 Jヴィレッジ光の間にて、「2020 スポ・ボラ後夜祭 準備会議」開催

9 月 3 日 東電福島第一原発および富岡町、浪江町(大平山霊園～請戸漁港～浪江まちなみマルシェ)視察

問合せ先: NPO 法人うつくしまスポーツルーターズ 事務局 担当: 齋藤道子

<http://rooters.jp/> info@rooters.jp

Tel&Fax: 024-546-9875 Mobile: 090-7525-5647